

あっぱれ 優 拍手!

頑張った人たちを紹介し、
応援するコーナーです。

小学校

■第8回町スポーツ少年団野球大会

1部 優 勝 十歳三ジュニアスターズ

〃 準優勝 多古ジュニアキッド

〃 3 位 多古リトルジャイアンツ

2部 優 勝 多古リトルジャイアンツ

〃 準優勝 多古ジュニアキッド

高校

■全国高等学校総合体育大会

ソフトテニス男子団体出場
萩谷祐介・並木孝昌(木更津総合高)

■県高等学校新人陸上競技大会

優勝 男子砲丸投 鈴木悠平(成田高)

関東大会出場へ

優勝 男子円盤投 椿卓実(東京学館高)

関東大会出場へ

優勝 女子走高跳 浅野由衣(〃)

関東大会出場へ

3位 男子三段跳 蛸谷竜一(〃)

関東大会出場へ

4位 女子100m 富澤順子(〃)

6位 男子走幅跳 早川清悟(〃)

〃 男子やり投 鈴木悠平(成田高)

7位 男子棒高跳 大矢大規(柏日体高)

8位 男子1500m 高橋拓也(富里高)

駆け抜ける風となれ

9月15日から17日までの3日間、房総半島348キロを走るサイクリングイベント『ツール・ド・ちば2007』が開かれました。初日の15日には、長柄町をスタートした一行が町内の主要地方道横芝下総線や国道296号を通過一。あじさい公園で昼食をとった後、初日のゴール白子町へ向けて再び出発していきました。

沿道で応援する人の姿も見られ、サイクリストたちが風のように町を駆け抜けました。



収穫の喜びをみんなで分かち合う



晴れ渡る空の下“豊饒^{ほうじょう}のさと多古ふれあい事業実行委員会”主催による『ふれあい田んぼ教室』が9月16日に行われました。今回は、5月に東京・埼玉・千葉市から参加した皆さんが、島地区の田んぼに自ら植えた稲の刈り取りに訪れました。鎌を使い悪戦苦闘しながら稲を刈り取り束ね、畦^{あぜ}に沿って設けられたおだに束ねた稲を掛けました。お昼には杵^{きね}と臼を使った餅つきも行われ、午後は大門地区の畑でさつまいも掘り。実りの秋を実感した一日となりました。

2大会連続制覇の快進撃!!

町内の各野球チームから選抜されたメンバーで構成される“多古クラブ”。8月に行われた東日本軟式野球大会、9月16日に行われた第52回高松宮賜杯全日本軟式野球(2部)香取支部大会で2大会連続の優勝を飾りました。今大会は、準決勝で神崎チームをコールドで破り、山田チームと対決した決勝では、初回の1点を守りきっての優勝。チームを率いる監督の萩原武さん(間倉)は「上の大会がある試合で勝てて嬉しいです。11月の東日本ブロック大会、来年5月の高松宮賜杯県大会に向けて頑張ります」と、喜びを語っていました。

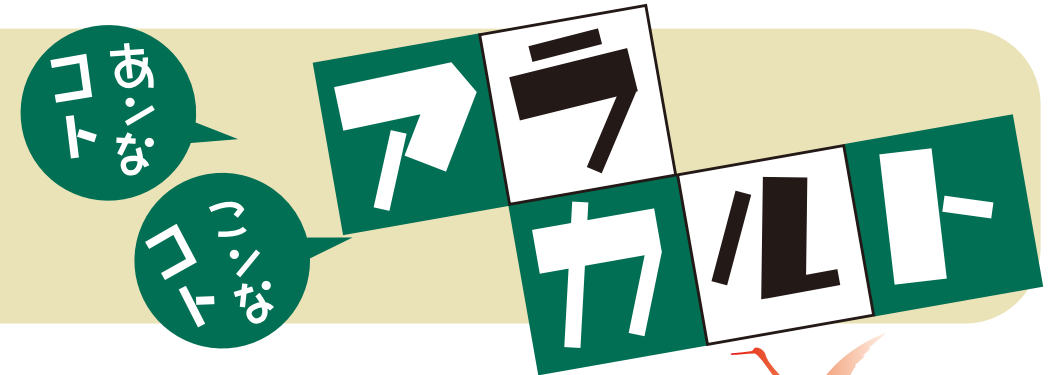


昔ながらの稲刈りを祖父母に学ぶ

9月11日、多古第一小学校の5年生56名が、学校敷地内にある約2アールの田んぼで稲刈りを体験しました。『先人に学ぶ』と題して行われたこの特別授業は、祖父母学級を兼ねたもの。参加したおじいさんやおばあさんも、昔ながらの鎌を使った手作業による刈り取りや“ヨツツォ”あるいは“ロツツォ”と呼ばれる縄での束ね作業、おだ掛けに「懐かしい」と笑顔浮かべながら、子供たちに手ほどきしました。



町の出来事や頑張っているみなさんを紹介するアラカルトコーナー。
このコーナーでは、みなさんからの情報をお待ちしています。
〒289-2292
役場総務課広報係 ☎(76)2611内線23



1世紀の時を生きて—



飯塚さん(前列右から2番目)

今年度で満100歳を迎える飯塚きんさん(飯笹)と柴田せつさん(川島)、飯田きよさん(宮本)の3名に9月27日、内閣総理大臣から祝状と銀杯、町からお祝などが贈られました。

訪れた香取健康福祉センター所長や町長らに「炊事や洗濯、縫い物も自分でします。98歳のおじいさんの世話も一。嫌いなものは無理に食べず、気ままに過ごすこと」と、長寿の秘訣を話された飯塚さん。また、10年前からベッドで過ごす時間が増えてきたものの「ありがとう」と、笑顔で応えてくれた柴田さん。食べることが大好きで、いつも笑顔を保ち続ける飯田さんも「ありがとう。ありがとう」と、周囲の皆さんに笑顔を振りまいていました。

この3名を加え、今年度多古町で100歳となる方は6名となります。これからも元気にお過ごしください。



柴田さん(中央)



飯田さん(中央)

農業体験で多古を知ってもらおう!!



島地区の畑で9月22日、NPO法人都市と農村交流協会による『第4回秋のさつまいも掘り体験』が開かれ、東京都や千葉市などから109人が参加しました。「体験会で繰り返し多古に来てもらって町を知っていただきたい。そして気に入ったら、ぜひ住んでいただきたい」と、同協会の小川成義会長からあいさつがあった後、参加者は畑の中へ。大人も子供も土の感触を楽しみながら、畝^{うね}を手で掘るとひょっこり顔を出す、さつまいもの収穫を堪能しました。同協会では次回、来年夏にじゃがいも掘り体験を予定しています。